

なりりーと見へり今のおとく羽黒湯屋
月山云ふありて孫院大日親言なりといふ
を御経記に何ぞ親言一神を羽黒檜現乃
此正神といひやへ（正神と云ふ事なり）
之る三十二年お永享二年の御勅は羽黒ふ
之而檜現とあれを五代の事を見（正神は
之而ハ羽黒一山の内ふ列にありて同成ふ
爲るの事ありあはるもや磐ハ熊野之而
檜現と一述は稱されとも同成ふありとす
本ま新々那智熊野列之をくハ吹浦ありと
同成ふありとを格別之羽黒記を見らに大
堂内も洗のあり建双へる堂社のうち
月山大檜現湯屋山大檜現あり是を以て
考れを羽黒大檜現と同成ふ月山湯屋兩檜
現を多々にありと巨細の事ハ末は後記

一皇^{スハ}細賀^ガ原^ダ

今ハ皇孫大統御とも書大堂の東山の
下
にあり今ハ羽黒の領地ありとと云われ
とも羽黒旧記の勢を以て宮にそ名を出を
のこ、系行天皇二十年戊戌春稱勅を